

7 2026
月号

No. 1174

広報

こほろづ

koho joetsu

上越市
公式SNSは
こちらから



楊洲周延

サムライ、浮世絵を描く



楊洲周延

楊

楊洲 周延

サムライ、浮世絵を描く



■問合せ…歴史博物館 (☎025-524-3120)

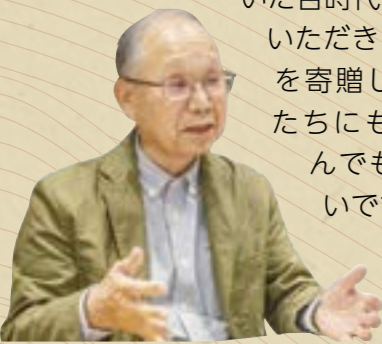
上越市ゆかりの浮世絵師・楊洲周延をご存知ですか。周延（本名 橋本直義）は、戊辰戦争時には旧幕府軍として戦い抜いた高田藩士でもありました。歴史博物館に今年寄贈された周延作品約1,200点の中から、得意とした美人画や歴史画、開化絵など約150点を前期と後期で入れ替えて紹介する特別展を開催します。当市ゆかりの浮世絵師が描いた華やかな明治の浮世絵作品に触れてみませんか。

【上杉謙信 市川團十郎、武田信玄、中村芝翫、原大隅守 助高屋高助】明治15（1882）年【後期展示】

寄贈者に聞く 周延作品への思い

先祖が高田藩・榊原家家臣の縁で、20年以上前から榊原家家臣団の調査研究のため、東京から高田へ度々訪れていました。平成24（2012）年に上越市立総合博物館で開催された企画展「楊洲周延＝橋本直義－高田藩士が歩んだ浮世絵師の道一」を見て、楊洲周延の存在を知り、彼の波乱に満ちた人生と特色ある作品に興味を持つようになったのが作品収集のきっかけです。

周延の作品は、歴史的な資料としても美術作品としても後世に残すべきものです。上越の皆さんにも本物の浮世絵に触れ、周延が多彩に描いた各時代の様子を楽しんでいただきたいと思い、作品を寄贈しました。子どもたちにも、浮世絵に親しんでもらえたらうれしいです。ぜひ、博物館で周延作品の世界をお楽しみください。



寄贈者 村田正晴さん

楊洲周延（橋本直義）略年譜

天保9年 (1838)	1歳	8月8日、高田藩士・橋本直義の嫡男・直義として生まれる。
元治2・慶応元年 (1865)	28歳	豊原国周に師事し、「周延」と名乗る。
慶応4・明治元年 (1868)	31歳	戊辰戦争で、江戸藩邸の藩士らと「神木隊」を結成し、旧幕府軍として戦う。
明治10年 (1877)	40歳	西南戦争などの戦争絵を描く。浮世絵師「楊洲周延」として本格的な活動を始める。
明治28年 (1895)	58歳	大奥の女性たちを題材にした『千代田之大奥』を描く。
明治29年 (1896)	59歳	美人画の集大成『時代かがみ』を描く。
明治45・大正元年 (1912)	75歳	9月29日、逝去。

楊洲周延とは

明治時代に活躍した浮世絵師・楊洲周延（天保9（1838）年～大正元（1912）年）は、天保9年8月8日、高田藩江戸詰の藩士・橋本直義の嫡男・直義として生まれ、歌川国芳や三代歌川豊国（国貞）、豊原国周ら歌川派のもとで絵を学びました。

「楊洲周延」の名で浮世絵師としての道を歩み始めた後、慶応4（1868）年の戊辰戦争では、他の江戸藩邸藩士とともに神木隊を結成し、旧幕府軍に加わります。箱館五稜郭の戦い後、謹慎のため高田へ送還されますが再び上京し、「高田藩士・橋本直義」から明治時代を代表する「浮世絵師・楊洲周延」へと転身・大成しました。

近年、町田市をはじめ東京で大規模な展覧会が開催されるなど、注目されている浮世絵師の一人です。



「千代田之大奥 富禄久」明治29（1896）年【前期展示】

周延作品の魅力

周延は「明治最後の浮世絵師の一人」として知られ、生涯で2千点以上の作品を手掛けました。西南戦争の激しい戦いを描いた「戦争絵」から出発した周延は、鮮やかな赤を多用し、バラエティー豊かなテーマで多くの作品を描きました。天皇・皇后や官女たちの華やかな生活を描いた「御所絵」、当時人気のあった歌舞伎役者を描いた「役者絵」、歴史上の人物や逸話を描いた「歴史画」、文明開化による社会の変化を描いた「開化絵」など、多彩な作品が残されています。



歴史博物館 小川 主任

周延が描いた『時代かがみ』を読み解く

浮世絵には豊富な情報が盛り込まれており、描かれた内容が分かると浮世絵をさらに楽しむことができます。『時代かがみ』を見れば、各時代に流行した名所や風俗などがわかりますので、特別展で見比べてみてください。



「時代かがみ 安永之頃 櫛巻 鈴木春信画」明治30 (1897) 年【前期展示】

①「時代かがみ 安永之頃」(題名)

安永年間 (1772~1781年) に流行したものをテーマにしています。題名の書きぶりが図ごとに違うのも見どころです。

②「櫛巻 鈴木春信画」(コマ絵)

上部の絵を「コマ絵」といいます。時間の経過を紙の状態や色で表し、セピアからカラーへと時代が進むにつれて鮮やかに表現されています。本作では、美人画で知られる浮世絵師・鈴木春信『絵本節操草』に登場する櫛巻姿の女性が描かれています。

③女性の半身像 (大首絵)

髪を「鶴鶴髷」に結った女性が寝そべりながら『貞操草』を読んでいます。髪、眉、まつげの細部まで表現され、シンプルな構図ながら浮世絵の彫や摺の技術が高いことがわかります。

④署名と落款

署名は「楊洲周延」、印は「楊洲」(朱文円印)です。署名や印章の違いは、描かれた時代を特定する手掛かりになります。

⑤出版情報

制作・発行の情報が書かれています。人気の作は何度も摺られることがあり、同じ浮世絵でも発行された日付が異なる場合があります。

特別展の見どころ

当館で14年ぶりとなる楊洲周延の大規模な展覧会です。展示作品は、受贈後初公開となります。特別展の見どころをご紹介します。



👁️ ① 初期作品を 受贈後初公開 見どころ

周延が三代歌川豊国門下の頃に名乗っていた「二代芳鶴」時代に描いたものや師・豊原国周と一緒に合筆し、国周の役者絵で背景を描いた作品など、浮世絵師として活動し始めた初期に描いた貴重な作品を紹介します。



豊原国周、楊洲周延作「春霞大江戸達引 鍾馗半兵衛 坂東彦三郎、御所の五郎蔵 中村芝翫、八重桜才三 坂東三津五郎」慶応2 (1866) 年【前期展示】

👁️ ② 明治の空気を映す 開化絵 見どころ

明治時代は西洋文化の流入により、人々の服装や生活、娯楽が激変しました。鹿鳴館時代に象徴される上流階級の華やかな洋装ドレスは、多くの女性の憧れとなります。周延の「開化絵」から文明開化の様相を紹介します。



「梅園唱歌図」明治20 (1887) 年【前期展示】

👁️ ③ 華やかな美人画『時代かがみ』 見どころ

周延は“美人画の浮世絵師”として知られており、多彩なテーマを描いた作品の中心には女性の姿がみられます。『時代かがみ』は周延の集大成と言われ、建武期～明治期の500年間にわたる各時代の女性風俗を描いた美人画大首絵のシリーズです。今回は全53枚のうち、題名違いの1枚を除いた52枚を前期・後期展示で半分ずつ紹介します。



①「時代かがみ 建武之頃 竹馬の古図」明治30 (1897) 年【前期展示】
②「時代かがみ 明治 臥龍梅」明治30 (1897) 年【後期展示】

関連イベント

記念講演会

「武士から絵師へ！楊洲周延の画業と人生」

- ▶ 講師…村瀬可奈さん (東京国立博物館研究員)
- ▶ と き…7月19日⑩
午後1時30分～3時 (午後1時開場)
- ▶ と ころ…オーレンプラザ (オンライン中継)
- ▶ 定 員…60人 (申込順、参加費無料)
- ▶ 申 込…7月7日⑩午前9時以降に歴史博物館 (☎025-524-3120) へ電話

展示解説会

- ▶ と き…7月25日⑩、9月20日⑩、10月10日⑩
午後1時～2時
- ▶ と ころ…歴史博物館
- ▶ 参加費…無料 (ただし、観覧料が必要)

特別展

楊洲周延 -サムライ、浮世絵を描く-

- ▶ と き…【前期】7月18日⑩～8月23日⑩、【後期】9月5日⑩～10月12日⑩・⑪
※前期・後期で作品を総入れ替えします。(8月25日⑩～9月4日⑩は常設展示のみ)
- ▶ 休館日…月曜日 (祝日の場合は開館し翌日休館)・祝日の翌日
※8月10日⑩、8月12日⑩は開館します。
- ▶ と ころ…歴史博物館 (☎025-524-3120)
- ▶ 観覧料…一般510円 (410円)、小中高生260円 (210円)
※ () 内は20人以上の団体

詳しくは

